

取扱説明書

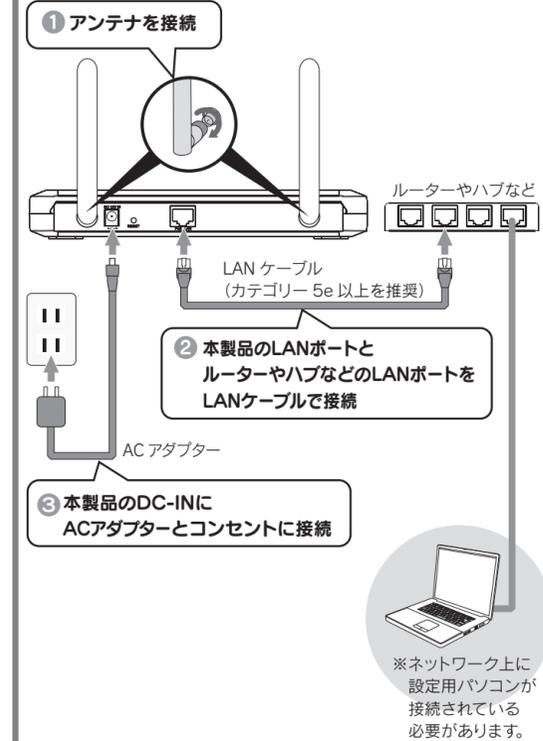
お買い上げ時のレシートや領収書をご購入日を証明するものです。大切に保管してください。詳しくは裏の【保証規定】をご覧ください。

より詳しい設定方法や高度な設定、本製品の機能については、サポートCD-ROMまたは弊社Webページより【画面で見るマニュアル】をご覧ください。

※【画面で見るマニュアル】を見るには、Adobe Readerが必要です。最新版のAdobe ReaderをAdobe社のサイトからダウンロードしてお使いください。

1 本製品を設置する

本製品の設定時は、設定用パソコンと本製品を有線LANで接続して設定します。
※本製品は、出荷時設定で無線LANが無効になっています。



天井や壁掛けをする場合
サポートCD-ROMに収録されている【画面で見るマニュアル】の【基本設定】→【アクセスポイントを設置する】をご覧ください。

2 本製品の設定画面を開く

1 ①設定用パソコンの電源を入れる
②添付のサポートソフトCD-ROMをセット
※自動再生の画面が表示された場合は、[AUTORUN.EXEの実行]をクリックします。

2 表示されたメニューから、**[Magical Finderを起動する]**を(ダブル)クリック
※メニューが表示されない場合は、マイコンピュータからCD-ROMを開き[Autorun(.exe)]をダブルクリックしてください。
※ユーザーアカウント制御の画面が表示された場合は、[はい]または[許可]をクリックします。

Mac OSの場合、下の画面が表示されます
①Mac OSに設定してあるパスワードを入力
②[OK]をクリック

3 ①自動でアクセスポイント(本製品)を検出するまで待つ(約1分)
②設定するアクセスポイント(本製品)の**[IP設定]**ボタンをクリック

アクセスポイント(本製品)が見つからない場合
●30秒ほど待つから、[情報の更新]ボタンをクリックしてください。
●セキュリティ関連のソフトウェアの機能を一部解除すると動作する場合があります。一時的にセキュリティ機能を解除してご確認ください。詳しくはセキュリティ関連のソフトウェアメーカーにお問い合わせください。
●他のパソコンで確認できる場合は、設定用パソコンを変更してお試しください。
●右の画面が表示された場合は、[ブロックを解除する]ボタンをクリックします。

4 ログインパスワードを入力してください
①"IODATA"(大文字、半角英字)と入力
②[OK]をクリック

5 本製品のIPアドレスを設定します。
例1 ネットワーク上にDHCPサーバー(ルーター等)がある場合
①**[IPアドレスを自動的に取得する]**を選択
②**[パソコンの時間をアクセスポイントに設定する]**にチェック
③[OK]をクリック

例2 本製品に固定のIPアドレスを設定する場合
①**[次のIPアドレスを使う]**を選択
②IPアドレスを設定 ※下記ヒント参照
③**[パソコンの時間をアクセスポイントに設定する]**にチェック
④[OK]をクリック

IPアドレスについて
本製品のIPアドレスは、設定用パソコンのIPアドレスと同じネットワークアドレス上に設定してください。

IPアドレス	本製品に割り当てるIPアドレスを設定します。
サブネットマスク	導入するネットワークに合わせたサブネットマスクを設定します。
デフォルトゲートウェイ	導入するネットワークのゲートウェイサーバーのアドレスを設定します。(ルーターなどのIPアドレスを入力します)

6 設定の反映を行います。完了までに30秒程度かかります
[OK]をクリック

7 アクセスポイントのリストに戻ります。
設定するアクセスポイント(本製品)の**[ブラウザ]**ボタンをクリック
⇒Webブラウザが起動します。

Webブラウザが起動しない場合は・・・
IPアドレスなどの設定が正しくない可能性があります。再度設定をやり直してください。それでも起動しない場合は、サポートソフトCD-ROM内【画面で見るマニュアル】の【困ったときには】の【設定画面が表示されない】をご覧ください。

3 無線アクセスポイントを設定する

1 ■ WHG-NAPG/Aの場合
①"admin"(小文字、半角英字)と入力
②"IODATA"(大文字、半角英字)と入力
③**[ログイン]**をクリック

■ WHG-NAPG/ALの場合
①"IODATA"(大文字、半角英字)と入力
②**[ログイン]**をクリック

2 無線LANを選択
[無線LAN]をクリック

3 基本設定を選択
[基本設定]をクリック

アクセスポイント以外のモードに切替える場合
上記【動作モード】画面で変更します。
詳しくはサポートCD-ROMに収録されている【画面で見るマニュアル】の【動作モード】をご覧ください。

4 2.4GHzの無線LAN設定をおこないます。
※2.4GHzを使用しない場合は手順6へお進みください。
①**[有効]**を選択
②**[SSID数]**を選択
③**[SSID数]**で選択した番号の**[SSID]**を入力
④**[設定]**をクリック

SSIDについて
●32文字まで、半角英数字、大文字/小文字の区別あり
●[SSID]は、無線LANアダプターの設定時に必要になりますので、メモしてください。
※その他の設定も必要に応じておこなってください。

5 確認画面が表示されます。
[設定反映]をクリック

6 5GHzの無線LAN設定をおこないます。
※5GHzを使用しない場合は手順8へお進みください。
①**[5GHz]**タブをクリック
②**[有効]**を選択
③**[SSID数]**を選択
④**[SSID数]**で選択した番号の**[SSID]**を入力
⑤**[設定]**をクリック

7 確認画面が表示されます。
[設定反映]をクリック

8 SSIDについて
●32文字まで、半角英数字、大文字/小文字の区別あり
●[SSID]は、無線LANアダプターの設定時に必要になりますので、メモしてください。
※その他の設定も必要に応じておこなってください。

9 暗号化の設定をおこないます。
①**[セキュリティ]**タブをクリック
②**[セキュリティ設定をする]**
③**[設定]**をクリック

10 確認画面が表示されます。
[設定反映]をクリック

以上で、本製品の基本的な設定については完了です。

4 無線LANアダプター側の設定をする

本製品に設定した[SSID]、[暗号化方法]、[認証方法]にあわせて無線LANアダプター側の設定が必要です。
方法については、無線LANアダプター側のマニュアルを参照してください。

※無線LANアダプターがWPS(Wi-Fi PROTECTED SETUP)に対応している場合は、WPSでの接続設定もできます。
詳しくはサポートCD-ROM内の【画面で見るマニュアル】の、【セキュリティ設定】の【WPSを利用して無線LANクライアントを追加する場合】をご覧ください。

参考:画面で見るマニュアルを開く

より詳しい設定方法や高度な設定、本製品の機能については、サポートCD-ROMまたは弊社Webページより【画面で見るマニュアル】をご覧ください。

※【画面で見るマニュアル】を見るには、Adobe Readerが必要です。最新版のAdobe ReaderをAdobe社のサイトからダウンロードしてお使いください。

サポートCD-ROMから開く場合

1 ①設定用パソコンの電源を入れる
②添付のサポートソフトCD-ROMをセット
※自動再生の画面が表示された場合は、[AUTORUN.EXEの実行]をクリックします。

2 表示されたメニューから、**[画面で見るマニュアルを読む]**を(ダブル)クリック
※メニューが表示されない場合は、マイコンピュータからCD-ROMを開き[Autorun(.exe)]をダブルクリックしてください。
※ユーザーアカウント制御の画面が表示された場合は、[はい]または[許可]をクリックします。

弊社Webページから開く場合

- WHG-NAPG/Aの場合
→ <http://www.iodata.jp/r/3575>
- WHG-NAPG/ALの場合
→ <http://www.iodata.jp/r/4037>

安全のために

お使いになる方への危害、財産への損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくための注意事項を記載しています。ご使用の際には、必ず記載事項をお守りください。

▼ 警告および注意表示

	この表示の注意事項を守らないと、死亡または重傷を負う危険が生じます。
	この表示の注意事項を守らないと死亡または重傷を負うことがあります。
	この表示の注意事項を守らないとけがをしたり周辺の物品に損害を与えたりすることがあります。

▼ 絵記号の意味

	禁止
	指示を守る

- 本製品を修理・分解・改造しない**
火災や感電、破裂、やけど、動作不良の原因になります。

- 雷が鳴り出したら、本製品や電源コードには触れない**
感電の原因になります。

- ACアダプターや本製品をぬらしたり、水気の多い場所で使わない**
水や洗剤などがACアダプターや本製品にかかること、隙間から浸み込み、火災・感電の原因になります。
・お風呂場、雨天、降雪中、海岸、水辺でのご使用は、特にご注意ください。
・水の入ったもの(コップ、花びんなど)を上に乗らないでください。
・掃除は必ず乾いた布でおこなってください。
・万一、ACアダプターや本製品がぬれてしまった場合は、絶対に使用しないでください。

- 本製品を乳幼児の手の届くところに置かない**
誤って飲み込み、窒息や胃などへの障害の原因になります。
万一、飲み込んだと思われる場合は、ただちに医師にご相談ください。

- 煙がでたり、変なにおいや音がしたら、すぐに使うのを止める**
そのまま使うと火災・感電の原因になります。

- 本製品の周辺に放熱を妨げるような物を置かない**
火災の原因になります。

- 本製品を飛行機の中で使わない**
飛行機の計器などの誤動作の原因になります。飛行機の中ではコンピューターから本製品を取り外してください。

- 故障や異常のまま、つながらない**
本製品に故障や異常がある場合は、必ずつないでいる機器から取り外してください。そのまま使うと、火災・感電・故障の原因になります。

- ペースメーカー等の産業・科学・医療用機器等の近くでは使用しない**
ペースメーカーや医療機器、産業・科学機器等の動作に影響を与え、事故の原因となる恐れがあります。
また医療機関では無線機器の使用を禁止していることがあります。

- 本製品を踏まない**
破損し、ケガの原因となります。特に、小さなお子様にはご注意ください。

- 長時間にわたり一定の場所に触れ続けけない**
本製品を一定時間使うと、本製品が熱く感じる場合があります。
長時間にわたり一定の場所に触れ続けると、低温やけどを起こす恐れがあります。

▼ 電源 (AC アダプター・コード・プラグ) について

- ACアダプターや電源コードは、添付品または指定品のもの以外を使わない**
電源コードから発煙したり火災の原因になります。
また医療機関では無線機器の使用を禁止していることがあります。

- AC100V (50/60Hz) 以外のコンセントにつながらない**
発熱、火災の恐れがあります。

- 電源コードやACアダプターにものをせたり、引っ張ったり、折り曲げ・押しつけ・加工などはしない**
電源コードがよじれた状態や折り曲げた状態で使用しないでください。
電源コードの芯線(電気の流れるところ)が断線したり、ショートし、火災・感電の原因になります。

- ゆるいコンセントにつながらない**
電源プラグは、根元までしっかりと差し込んでください。根元まで差し込んでみゆるみがあるコンセントにはつながらず、発熱して火災の原因になります。

- 電源プラグを抜くときは電源コードを引っ張らない**
電源プラグを持って抜いてください。電源コードを引っ張ると電源コードに傷が付き、火災や感電の原因になります。

- 添付のACアダプターや電源コードは、他の機器につながらない**
火災や感電の原因になります。添付のACアダプターや電源コードは、本製品専用です。

- コンセントまわりは定期的には掃除する**
長期間電源プラグを差し込んだままのコンセントでは、つまったホコリが湿気などの影響を受けて、火災の原因になります。(トラッキング現象)
トラッキング現象防止のため、定期的に電源プラグを抜いて乾いた布で電源プラグをふき掃除してください。

- 煙が出たり、変な臭いや音がしたら、すぐにコンセントから電源プラグを抜く**
そのまま使うと火災・感電の原因になります。

- じゅうたん、スポンジ、ダンボール、発泡スチロールなど、保温・保湿性の高いもの近くで使わない**
火災の原因になります。

- 熱器具のそばに配線しない**
電源コード被覆が破れ、火災や感電、やけどの原因になります。

- ケーブルタップを使用する時は定格容量以内で使用する、たこ足配線はしない**
ケーブルタップの定格容量 (11500Wなどの記載) を超えて使用すると、ケーブルタップが過熱し、火災の原因になります。

▼ 電源 (AC アダプター・コード・プラグ) について

- 人が通行するような場所に配線しない**
足を引っ掛けると、けがの原因になります。

無線LAN製品ご使用時におけるセキュリティに関するご注意

(お客様の権利(プライバシー保護)に関する重要な事項です!)

無線LANでは、LANケーブルを使用する代わりに、電波を利用してパソコン等と無線アクセスポイント間で情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続が可能であるという利点があります。その反面、電波はある範囲内であれば障害物(壁等)を越えてすべての場所に届くため、セキュリティに関する設定を行っていない場合、以下のような問題が発生する可能性があります。

- 通信内容を盗み見られる -----
悪意ある第三者が、電波を故意に傍受し、
・IDやパスワード又はクレジットカード番号等の個人情報
・メールの内容
等の通信内容を盗み見られる可能性があります。

- 不正に侵入される -----
悪意ある第三者が、無断で個人や会社内のネットワークへアクセスし、
・個人情報や機密情報を取り出す(情報漏洩)
・特定の人物になりすまして通信し、不正な情報を流す(なりすまし)
・傍受した通信内容を書き換えて発信する(改ざん)
・コンピュータウィルスなどを流しデータやシステムを破壊する(破壊)
などの行為をされてしまう可能性があります。

本来、無線LANカードや無線アクセスポイントは、これらの問題に対応するためのセキュリティの仕組みを持っているので、無線LAN製品のセキュリティに関する設定を行って製品を使用することで、その問題が発生する可能性は少なくなります。無線LAN機器は、購入直後の状態においては、セキュリティに関する設定が施されていない場合があります。従って、お客様がセキュリティ問題発生の可能性を少なくするためには、無線LANカードや無線LANアクセスポイントをご使用になる前に、必ず無線LAN機器のセキュリティに関する全ての設定をマニュアルにしたがって行ってください。なお、無線LANの仕様上、特殊な方法によりセキュリティ設定が破られることもあり得ますので、ご理解の上、ご使用ください。セキュリティの設定などについて、お客様ご自分で対処できない場合には、弊社サポートセンターまでお問い合わせください。当社では、お客様がセキュリティの設定を行わないで使用した場合の問題を充分理解した上で、お客様自身の判断と責任においてセキュリティに関する設定を行い、製品を使用することをとお奨めします。
※ セキュリティ対策を施さずあるいは、無線LANの仕様上やむを得ない事情によりセキュリティの問題が発生してしまった場合、株式会社アイ・オー・データ機器は、これによって生じた損害に対する責任を負いかねます。

使用上のご注意

本製品を使用する上で、以下の注意をご確認ください。

■ 以下の機器は無線局と同じ周波数帯を使用します。近くでは使用しないでください。

- ペースメーカー等の産業・科学・医療用機器等
- 工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局(免許を要する無線局)
- 特定小電力無線局(免許を要しない無線局)

上記の近くで本製品を使用すると、電波の干渉が発生する恐れがあります。そのため、通信ができなくなったり、速度が遅くなったりする場合があります。

■ 携帯電話、PHS、テレビ、ラジオを、本製品の近くではできるだけ使用しないでください。

携帯電話、PHS、テレビ、ラジオ等は、無線LANとは異なる電波の周波数帯を使用しています。そのため、本製品の近くでこれらの機器を使用しても、本製品の通信およびこれらの機器の通信に影響はありません。ただし、これらの機器を無線LAN製品に近づけた場合は、本製品を含む無線LAN製品が発する電磁波の影響によって、音声や映像にノイズが発生する場合があります。

■ 間に鉄筋や金属およびコンクリートがあると通信できません。

本製品で使用している電波は、通常の家屋で使用されている木材やガラス等は通過しますので、部屋の壁に木材やガラスがあっても通信できます。ただし、鉄筋や金属およびコンクリートなどが使用されている場合、電波は通過しません。部屋の壁にそれらが使用されている場合、通信することはできません。同様にフロア間でも、間に鉄筋や金属およびコンクリート等が使用されていると通信できません。

■ 本製品の5GHz帯は、屋外で使用しないでください。製品を屋外で使用する場合は、2.4GHz帯をご利用ください。

法令により、5GHz帯のW52(36,40,44,48ch)、W53(52,56,60,64ch)を屋外で使用することは禁止されています。5GHz帯のW56(100~140ch)は法令により屋外での使用が可能です。本製品でW56のチャンネルを指定した場合でも、レーザー波を検出した場合は、屋外で使用が禁止されているW52やW53へ自動的にチャンネルが変更される場合があります。そのため屋外で使用する必要がある場合は、2.4GHz帯をご利用ください。

■ 本製品の電源を入れ直す場合は、電源を切った後、5秒以上待ってから電源を入れてください。

この装置は、クラスA情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

VCCI-A

【ユーザー登録はこちら】…<https://ioportal.iodata.jp/>

ユーザー登録にはシリアル番号(S/N)が必要となりますので、メモしておいてください。シリアル番号(S/N)は本製品品付のシールに印字されている12桁の英数字です。(例:ABC1234567Z)

【本製品の廃棄について】

本製品を廃棄する際は、地方自治体の条例にしたがってください。

【使用ソフトウェアについて】

本製品は、GNU General Public License Version2, June 1991に基づいたソフトウェアが含まれています。変更済みGPL対象モジュール、GNU General Public License、及びその配布に関する条項については、弊社のホームページにてご確認ください。これらのソースコードで配布されるソフトウェアについては、弊社ならびにソフトウェアの著作権は一切のサポートの責を負いませんのでご了承ください。

【ご注意】

- 本製品及び本書は株式会社アイ・オー・データ機器の著作物です。したがって、本製品及び本書の一部または全部を無断で複製、複写、転載、改変することは法律で禁じられています。
- 本製品は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器、兵器システムなどの人命に関する設備や機器、及び海底中継器、宇宙衛星などの高度な信頼性を必要とする設備や機器としての使用またはこれらに組み込んでの使用は禁じられておりません。これら、設備や機器、制御システムなどに本製品を使用され、本製品の故障により、人身事故、火災事故、社会的な損害などが生じても、弊社ではいかなる責任も負いかねます。設備や機器、制御システムなどにおいて、冗長設計、火災延焼対策設計、誤動作防止設計など、安全設計に万全を期されるようご注意ください。
- 本製品は日本国内仕様です。本製品を日本国外で使用された場合、弊社は一切の責任を負いかねます。また、弊社は本製品に關し、日本国外への技術サポート、及びアフターサービス等を行っておりませんので、予めご了承ください。(This product is for use only in Japan. We bear no responsibility for anydamages or losses arising from use of, or inability to use, this product outside Japan andprovide no technical support or after-service for this product outside Japan.)
- 本製品は「外国為替及び外国貿易法」の規定により輸出規制製品に該当する場合があります。国外に持ち出す際には、日本政府の輸出許可申請などの手続きが必要になる場合があります。
- 本製品を使用した結果の他への影響については、上記にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。

アフターサービス

ご提供いただいた個人情報は、製品のお問合せなどアフターサービス及び顧客満足度向上のアンケート以外の目的には利用いたしません。また、これらの利用目的の達成に必要な範囲内で業務を委託する場合を除き、お客様の同意なく第三者へ提供、または第三者と共同して利用いたしません。

お問い合わせについて

お問い合わせいただく前に、**以下をご確認ください**

- -
 -
- 『画面で見るマニュアル』の「困ったときには」を参照
弊社サポートページのQ&Aを参照
→ <http://www.iodata.jp/support/>
最新のソフトウェアをダウンロード
→ <http://www.iodata.jp/lib/>

それでも解決できない場合は、**サポートセンターへ**

電話：050-3116-3017
※受付時間 9：00～17：00 月～金曜日(祝祭日をのぞく)
FAX：076-260-3360
インターネット： <http://www.iodata.jp/support/>

<ご用意いただく情報>

製品情報(製品名、シリアル番号など)、パソコンや接続機器の情報(型番、OSなど)

ハードウェア保証規定

弊社のハードウェア保証は、ハードウェア保証規定(以下「本保証規定」といいます。)に明示した条件のもとにおいて、アフターサービスとして、弊社製品(以下「本製品」といいます。)の無料での修理または交換を約束するものです。

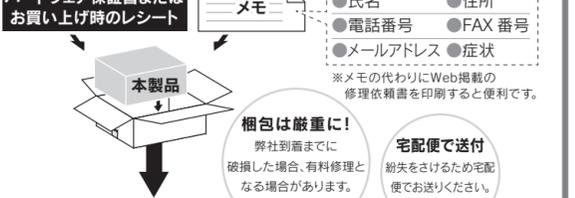
1 保証内容	4 修理
取扱説明書(本製品外箱の記載を含みます。以下同様です。)等にしたがった正常な使用状態で故障した場合、お買い上げ日(記載されたレシートや納品書をご提示いただく事により、お買い上げ日より36ヶ月、無料修理または弊社の判断により同等品へ交換いたします。	1) 修理を弊社へご依頼される場合は、本製品と本製品のお買い上げ日が記載されたレシートや納品書等を弊社へお持ち込みください。本製品を送付される場合、発送時の費用はお客様のご負担、弊社からの返送時の費用は弊社負担とさせていただきます。 2) 発送の際は輸送時の損傷を防ぐため、ご購入時の箱・梱包材をご使用いただき、輸送に関する保証および輸送状況が確認できる業者のご利用をお願いいたします。弊社は、輸送中の事故に関して責任を負いかねます。 3) 本製品がハードディスク・メモリーカード等のデータを保存する機能を有する製品である場合や本製品の内部に設定情報をもつ場合、修理の際に本製品内部のデータはすべて消去されます。弊社ではデータの内容につきましては一切の保証をいたしかねますので、重要なデータにつきましては必ず定期的にバックアップとして別の記憶媒体にデータを複製してください。 4) 弊社が修理に代えて交換を選択した場合における本製品、もしくは修理の際に交換された本製品の部品は弊社にて適宜処分いたしますので、お客様はお返ししません。
2 保証対象	5 免責
保証の対象となるのは本製品の本体部分のみとなります。ソフトウェア、付属品、消耗品、または本製品もしくは接続製品内に保存されたデータ等は保証の対象とはなりません。	1) 本製品の故障もしくは使用によって生じた本製品または接続製品内に保存されたデータの毀損・消失等について、弊社は一切の責任を負いません。重要なデータについては、必ず、定期的にバックアップを取る等の措置を講じてください。 2) 弊社に故意または重大失のある場合を除き、本製品に関する弊社の損害賠償責任は理由のいかんを問わず製品の価格相当額を限度といたします。 3) 本製品に隠れた瑕疵があった場合は、この約款の規定に関わらず、弊社は無償にて当該瑕疵を修理し、または瑕疵のない製品または同等品に交換いたしますが、当該瑕疵に基づき損害賠償責任を負いません。
3 保証対象外	6 保証有効範囲
以下の場合保証の対象とはなりません。 1) レシートや納品書に記載されたご購入日から36ヶ月の保証期間が経過した場合 2) 火災、地震、水害、落雷、ガス害、塩害およびその他の天災地変、公害または異常電圧等の外部的事由による故障もしくは損傷の場合 3) お買い上げ後の輸送、移動時の落下・衝撃等お取扱いが不適当なため生じた故障もしくは損傷の場合 4) 接続時の不備に起因する故障もしくは損傷、または接続している他の機器やプログラム等に起因する故障もしくは損傷の場合 5) 取扱説明書等に記載の使用法または注意書き等に反するお取扱いに起因する故障もしくは損傷の場合 6) 合理的な使用法に反するお取扱いまたはお客様の維持・管理環境に起因する故障もしくは損傷の場合 7) 弊社以外で改造、調整、部品交換等された場合 8) 弊社が寿命に達したと判断した場合 9) 保証期間が無期限の製品において、初回に導入した装置以外で使用された場合 10) その他弊社が本保証内容の対象外と判断した場合	弊社は、日本国内のみにおいて本保証規定に従った保証を行います。本製品の海外でのご使用につきましては、弊社はいかなる保証も致しません。 Our company provides the service under this warranty only in Japan.

【商標について】

- I/O DATAは、株式会社アイ・オー・データ機器の登録商標です。
- Windows Vista®およびWindowsロゴは、米国または他国におけるMicrosoft Corporationの商標または登録商標です。
- Macintosh, Mac, Mac OS, Mac OS Xおよびその商標は、米国Apple Inc.の登録商標です。
- その他、一般に会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。

修理について

修理を依頼される場合は、以下の要領でお送りください。



〒920-8513 石川県金沢市桜田町2丁目84番地
株式会社 アイ・オー・データ機器 修理センター 宛

- 送料は、発送時はおお客様ご負担、返送時は弊社負担とさせていただきます。
- 有料修理となった場合は先に見積をご案内いたします。(見積無料)金額のご了承をいただいているから、修理をおこないます。
- 内部にデータが入っている製品の場合、厳密な検査のため、内部データは消去されます。何卒、ご了承ください。バックアップ可能な場合は、お送りいただく前にバックアップをおこなってください。弊社修理センターではデータの修復はおこなっておりません。
- お客様が貼られたシール等は、修理時に失われる場合があります。
- 保証内容については、ハードウェア保証規定に記載されています。
- 修理品をお送りになる前に製品名とシリアル番号(S/N)を控えておいてください。

修理について詳しくは… <http://www.iodata.jp/support/after/>

進化する明日へ Continue thinking

株式会社 **アイ・オー・データ機器**
ホームページ <http://www.iodata.jp/>